

こんにちは。やっと暖かくなりましたね。  
暖かくなると虫たちも活発に動きだします。  
ノミ・ダニはもちろん、他の寄生虫も元気に  
ワンちゃん、ネコちゃんをねらっています!!  
今回のテーマは外部寄生虫です。



## あなたのワンちゃんネコちゃんは大丈夫ですか??

これからのシーズンはスチリア予防はもちろん、ノミ・ダニの予防も大切です。  
お外にはノミやダニがあなたの愛犬・愛猫を首を長くして待っています。ドライブや  
ピクニックなどおでかけする時はもちろん、おでかけのないワンちゃん、ネコちゃん  
の場合でも人が知らぬ間にノミを連れて帰っていることもあるので、ぜひノミ・ダニの  
餌食にならないようにしっかり予防をしましょう。



## 油断しないてください!!



“ノミ・ダニがついていたら手で取ってあげたらもう大丈夫。  
なんてことはありません!! ノミが5匹いれば子イ共たちが95匹も  
隠れています。放っておくとあという間に人間にまでノミの餌食に。  
それだけではありません。大量に寄生すると貧血はもちろん、伝染病に  
なったり、お腹に寄生する虫までノミ・ダニからうつてしまいます。  
裏面ではもう少し詳しくノミ・ダニと他の外部寄生虫について取りあげています。

## ご意見、ご感想、質問など募集しています。

今回より、わんにせん新聞を読んでものご意見などを募集することに致しました。

[info@on-vet.com](mailto:info@on-vet.com) までよろしくお願ひ致します。

ご意見、ご感想、質問や今後取りあげてほしいテーマなど  
どんなことでもかまいません!! お待ちしております。





# 本当に怖いノミとダニ



激しいかゆみで精神的なストレスを与えるノミの被害。  
放っておくと人間にまでノミの被害はまわってきます。

かゆみや湿疹、脱毛を伴うノミアレルギー皮膚炎をおこすことがあります。

背中からおしり、内股に症状が出やすいです。

又、イ本長50cm以上にもなることがある瓜栗条虫(サナダムシ)に感染してしまう  
ことがあります。瓜栗条虫はノミの糞が条虫の卵を食べて、ノミのイ本の中で成長し、  
犬・猫が毛をなめたりしてノミを誤って食べてしまうことにより、腸の中に寄生してしまいます。



マダニの被害はダニによる貧血や皮膚炎だけではありません。

赤血球に寄生して、貧血をおこすバベシア症(犬)やヘモバトネラ症(猫)という  
恐ろしい病気になたりもします。

バベシア症に関しては「わんにゃん新聞Vol.2」に取りあげております。

お持ちでない方はお気軽に申し出下さい。お渡し致します。



よくスーパーやコンビニなどで見かける市販のノミ・ダニ

馬区除剤は安いですが、あまり効果がありません。

実際に、市販のものをつけているのにノミやダニをつけて

来院する子もいます。当院では1月に1回、首筋に液本体をたらす

だけでほぼ100%馬区除効果フロントラインプラス、レボリューション6%をおいております。

お気軽にお買い求め下さい。

## 外部寄生虫はノミ・ダニだけではありません!!

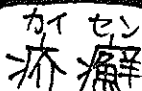
顕微鏡や金鏡で見なければ見えない小さな虫もいます。



この虫は毛根部や皮脂腺に普段からいる虫です。

健康で元気な時は悪さをしません。ストレスや栄養状態など免疫力が低下

すると大量発生して、かゆみを起こしたり、脱毛・フケが出たり、ひどくなると皮膚が  
ただれてしまうことがあります。



皮膚にトンネルを掘って寄生し、その中に産みつけた卵が

ふ化してダニへと皮下で成長をします。とてもかゆみがあり、

始めは1部分だけかゆがっていたのにいつの間にか全身に

広がってしまうこともありますのでかゆがりだしたら早めに治療をしましょう。